

土地区画整理事業の街づくりについて



中嶋 通治

問 吉川美南駅東口周辺地区土地区画整理事業は令和8年度末の完了予定であるが、進捗状況と事業終了の時期は。

答 おおむね予定どおりに進捗している、現在、地区面積の78パーセント、約46ヘクタールの範囲で工事をしている。

問 今後事業費の見直しや、事業計画の変更等検討しているのか。

答 人件費や資材価格が高騰している状況を踏まえ、事業期間や事業費の見直し作業に取り組む。

問 商業・業務ゾーンが大きなカギを握る、また、総合病院進出の話があるが進出について事前打ち合わせ等があったのか。

答 複数の事業者から相談がある。その中の1つの事業者から医療施設を含めた複合的な計画の検討を進めたいとの相談を受けている。

問 総合病院が本当にできるのか。

答 令和5年2月10日の埼玉県医療審議会を経て10医療機関819床が採択された。この中に224床の病院を開設する医療機関も含まれている。

答えて市長！ 一般質問

今定例会では、3月17日(金)、20日(月)、24日(金)の3日間にわたり15名の議員が市政全般について、市の見解をただしました。

主な内容を質問者が要約してお知らせします。詳細は会議録をご覧ください。

会議録は、ホームページや市立図書館で閲覧できますが、今定例会の会議録の提供は、6月上旬となる予定です。



**若年がん患者終末期医療
在宅療養生活支援の実施を**



五十嵐 恵千子

問 20歳～39歳までの若年者で末期がんと診断された患者の中には、幼子・家族と共に余命を自宅で療養したいと希望しても、制度の狭間で介護保険制度等が使えず、心労・経済的負担が大きいと伺っている。当該支援事業の実施を。

答 制度の狭間で苦しんでいる方々に手を差し伸べたいと思うが、制度の根幹に係る部分は国と県であり、市はその上で制度設計を考えなくてはならない。国・県の動向を注視して行く。

◆さらなる経済対策の拡充を

問 エネルギー価格・原材料高騰により家計や事業者は苦しさが増している。①当市の支援金・補助金実施の評価。②なまずサミットや産業フェアに若者市民の参加を。③当市において市内中小企業等が受注できる機会増の取組みを。④事業者へ融資等のフォローアップ支援実施を。

答 ①事業者連携発展補助金は、地域課題解決や地域活性化に繋がった。原油等価格高騰対策支援金は、全体で425件、総額3,430万円を交付。②ご提案を参考に検討。③事業者の受注機会確保に努めている。④事業者へ寄り添い対応する。

**中学生ヘルメット選定自由
4月～全年齢着用努力義務**



降旗 聡

問 4月1日の改正道路交通法施行により、自転車に乗る人のヘルメット着用努力義務が全年齢に拡大される。中学校生徒の指定ヘルメットからヘルメット選定の自由化について。

答 市内全ての中学校に確認したところ、登下校時に自転車を利用する生徒が着用するヘルメットについて、色やデザインを指定している学校はなく、一般財団法人製品安全協会が定める安全基準（SGマーク）を満たしたものであれば、使用を認めているとのこと。

問 中学生のヘルメットは指定ではないということか。

答 入学時に、このような店でこのようなものを売っているといった案内はするが、必ずしもそれであればダメといったことではない。

問 SGマークが付いている物であれば、選定は自由か。

答 指定はしていないので、そういうことになる。制服にどのようなヘルメットが合うのかということもあるが、放課後などにも着用することになるので、どのようなシーンにも合うようなヘルメットを選ばれたらいい。